

夏の花を求めて 秦野ビジターセンター

夏の丹沢登山は、直射日光にさらされる所が多く、標高も 2000mに満たないため、暑さ対策が欠かせません。暑さに負けず山稜へ登ると、この季節ならではの花に出会えるご褒美が待っています。

鮮やかなピンク色のシモツケやよく似たシモツケソウは、小さな花がたくさん集まった形です。特にシモツケソウは雄しべが突き出て、線香花火を連想させます。黄色が目立つマルバダケブキは、時に林床で群生しています。道端にひっそりと、それでいて特徴的な形で目をひくのはヤマオダマキ。名の由来は内側の黄色い花びらの根元の長く伸びた形が、糸巻の「おだまき」に似ることによります。登山道脇には、黄色いクロテンコオトギリや白いヤハズハハコなども見られます。

水分や塩分補給など暑さ対策をしっかりと、夏の花との出会いを求めて丹沢登山に挑戦してみませんか。(柳川)



シモツケ



シモツケソウ



ヤマオダマキ



マルバダケブキ

【イベント案内】

秦野ビジターセンター

特別企画「めざせ！葉っぱ博士～おもしろ葉っぱ発見室～」

内容：かたち、手ざわり、拡大したら・・・
丹沢の葉っぱをいろいろ探してみよう！
葉っぱ図鑑作りも体験して、葉っぱ博士をめざそう！

日程：7月13日(土)～9月8日(日) 9:00～16:30 (無料・無休)

葉っぱ図鑑作り体験 (9月1日まで 参加費：100円)

受付時間：9:30～11:30 / 13:30～15:30 当日カウンターにて受付

「丹沢・山の日3days by 秦野ビジターセンター」

内容：丹沢のことを楽しく学ぶ3日間！丹沢のクイズラリーに挑戦！
12日には「はじめての地図読み」講座(要申込・有料)等、盛りだくさん！

日程：8月10日(土)～8月12日(月祝)

箱根ビジターセンター

夏の昆虫観察会「箱根虫塾」

- ①「昆虫を探そう！」 8月11日(日) 10:00～15:00
- ②「昆虫を集めよう！」 8月11日(日) 19:00～20:00
- ③「昆虫標本を作ろう！」 8月12日(月祝) 10:00～12:00

申込：箱根ビジターセンターメール宛にお申込み下さい。
詳細はホームページにてご確認ください。

自然公園へでかけよう



環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164
Tel 0460-84-9981
<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下 1513
Tel 0463-87-9300
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

県立西丹沢ビジターセンター

(旧西丹沢自然教室)
〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867-2-9
Tel 0465-78-3940
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

開館日、開館時間等は各ビジターセンターまでお問合せください。



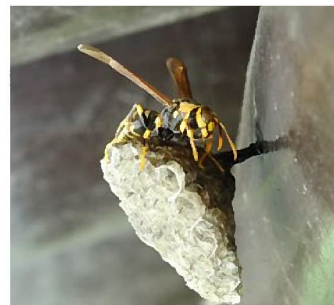
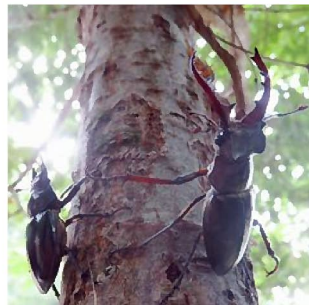
箱根ビジターセンター、秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンターの Facebook ページ公開中！ 最新の情報をご覧ください。

妖精と出会う季節 箱根ビジターセンター

季節も夏本番になると、全国各地の自然公園では小さな妖精たちがブンブン舞い踊ります。キラキラとした模様の羽根をはばたかせ宙を舞う者、大きい立派なアゴが子どもたちに大人気の者、強烈な毒を持つちよいと危険な者、時々臭あ〜い匂いを出す者、そんな十人十色の妖精たちのことを、別名「昆虫(こんちゅう)」とも呼びます。

夏になれば多くの子どもたちが自然の中へ妖精を探しにやってきました。「○○クワガタはどこで捕まえますか?」「この妖精(昆虫)はなんですか?」といった楽しそうな質問が箱根ビジターセンターによく飛び込んできます。ついつい虫好きのスタッフも楽しくなってしまう、一緒に妖精探しに出かけてしまいます。

アトラクションや楽しく遊べる遊具があるわけでもない、ここ箱根の自然公園では、「妖精探し」が夏のホットな遊び方です。勇者の剣と盾ともいえる「捕虫網と虫かご」を準備して、フィールドへと冒険に出かけましょう。(加藤)
※捕まえた妖精は最後は自然に放してあげましょう。



妖精1 (人気のミヤマクワガタ) 妖精2 (ちよいと危険なアシナガバチ)

西沢 滝ハイキング 西丹沢ビジターセンター

夏の西丹沢には、登山やキャンプ、川遊びなどを目的に多くの人々が訪れます。西丹沢ビジターセンターから下棚ノ滝、本棚ノ滝の2つの滝をめぐるハイキングコースは、暑い夏の日に人気のコースです。

滝へ向かうには、西丹沢ビジターセンターから西沢の沢沿いを歩きます。沢沿いにはカエデやシデの森が広がり、木々の木陰や足下を流れる沢の水によって涼を感じることが出来ます。約1時間30分ほど歩くと下棚ノ滝に着きます。そこからさらに15分ほどで本棚ノ滝に着きます。下棚ノ滝の落差は約45m、本棚ノ滝は約70mあります。どちらも滝のすぐ下まで行くことが

でき、水の落ち際には吹き降ろす風と水飛沫で、さらに涼しく感じることでしょ。

また、このコースでは、春にはスミレやネコノメソウの仲間、秋にはイワシャジンやダイヤモンドソウといった山野草が見られます。冬には滝の周りの飛沫が凍った姿を見ることができ、四季を通じて楽しむことが出来ます。

滝ハイキングに行かれる方は西丹沢ビジターセンターにお電話、または直接お立寄りいただければ、コースの案内や、増水や落石などの注意事項をお伝えいたします。皆さまも一度、滝ハイキングに出かけてみてはいかがでしょうか。(遠藤)



下棚ノ滝



本棚ノ滝



本棚ノ滝(冬)